

2016年度 全国高校生の環境活動

北海道から沖縄まで、日本全国で高校生が熱心に環境活動に取り組んでいます。
高校生の環境活動の特長は、地球温暖化対策や生物多様性保全、リサイクルといった課題は
もちろん、「地域」の環境テーマに多岐にわたって取り組んでいることといえます。
今年増えたキーワードは、獣害、大気環境、海ゴミ、放置竹林など。また、「自分たちにできること」や
「未来の環境」を合言葉に取り組んでいます。
今年度、「第2回 全国ユース環境活動発表大会」に応募いただいた取組をご紹介します。

掲載例) 上段: 高校名
中段: 団体名
下段: 活動名

「全国ユース環境活動発表大会」の地区別の都道府県は、環境省地方環境事務所の所管する都道府県別で区分しています。

北海道

4 団体



札幌新陽高等学校

アグリクラブ

廃棄コーヒー豆の堆肥化による再利用への挑戦

廃棄するはずのコーヒー豆を無償で譲り受け、学校の畑で堆肥化実験を行っている。低コスト・低労力・簡易的なリサイクル法で循環リサイクルを普及させて、廃棄物問題と向き合うことを目的に、産業廃棄物の再利用による環境負荷軽減、環境と人・生物に優しい農業を実践している。

北海道帯広農業高等学校

十勝川多自然川づくり班

十勝川中流部における湿地再生と生物多様性の回復

十勝川流域は河川整備事業により、かつての湿地の98%を消失。生物多様性の危機に瀕しており、行政と市民、高校生との「協働」の川づくりとして、湿地再生による生物多様性回復を目指した活動を展開している。



北海道標茶高等学校

エゾシカ革の有効活用プロジェクト

ヒトとイノチをつなぐエゾシカレザー

エゾシカが牧草やデントコーンを食べてしまう深刻な問題がある。エゾシカは、地球に生息している一つの尊い命でもあるが、エゾシカレザーを用いたオリジナルアクセサリ「チャックの引手」を製品化したことで北海道の特産品となる可能性を発信することができた。



北海道標茶高等学校

北海道標茶高等学校敷地内ガイドプロジェクト

地域の魅力発信! 軍馬山フットパス

軍馬山には多様な環境が存在しているにもかかわらず、地域からの認知度が低い。そこで、地域の自然を知ってもらう舞台とし、私たちが地域に発信していくことを決意し、フットパスやガイドを中心とした発信活動をしている。



東北

6 団体

